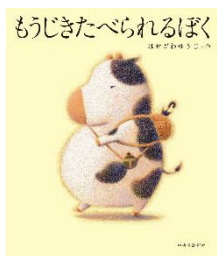


食育

サバの解体ショー

令和6年10月16日
社会福祉法人晋栄福祉会
新福島ちどり保育園

10月16日(水)に子どもたちが楽しみにしていたサバの解体ショーがあり、3・4・5歳が参加しました。絵本「もうすぐたべられるぼく」の読み聞かせを見てからいよいよスタート。実際のサバを見たり、包丁でさばかれるところを見ると「血がでてる」「なんだか匂いがしてきた」と興味をもって観察しており、おろしたサバを見て「怖い」「かわいそう」と、命に関しての発言をする姿もありました。また0・1・2歳のクラスにもサバを持って行くとラップ越しに触って見たり、近くに行ってみようとする姿がありました。他にも果物の飾り切りやごますり体験、野菜の浮き沈み実験、ポップコーン作りなど様々な体験をして楽しみ、給食ではサバの煮つけが提供され「さっきのサバかな」「全部食べようね」と話をする姿も見られました。今後もこのような体験を通して、生きるために命をいただいていることを知り、感謝の気持ちを持って残さず食べようとするきっかけになればと思います。



この絵本をよみました



サバの三枚おろし



血がでてるね！

果物の飾り切り



サバおいしいね



残さず食べようね！

